



社説

平信用組合が改造派によつて大谷組合長が排除され非改造派としては改造派の陰謀的策動を憎み...

町村議員改選に 校舍使用差支なし 但し町村の實情止を得ぬ場合のみと

来る五月石城郡内郷村の村去月一、二の兩日常務理事...

平局の電話は 架設費より安値 最近一割方下落す

平局管内の電話架設費が本局より七十圓平均下落す...

農講生等 研農會組織

五日總會開催 農事試験場石城分場農事講習卒業生は相互の聯絡...

雄辯に物語る 石城銀行界

石城郡銀行組合の業績に表れたる最近の金融状況各行別内譯は...

兩字が正面の 衝突をすれば 重大問題を起す

入遠野村長今日出縣陳情 石城郡入遠野縣道編入問題...

突然の吏員解職で 平町役場批難さる

例へ臨時吏員でも 豫告あつて然る可きだ... 豫算の都合により...

公園内の 賣店者も決定して

松ヶ岡に早くも花見気分漂ふ 一日と松ヶ岡公園の櫻りしたかの感あるが右に就...

明朝は 雨になる

小名濱測候所談 結局そのステッキを銀行へ預けてから所用に飛び出したが...

愈々豫審 近く犯人の精神鑑定をする筈 其の後寄附制度から實費制に變つて以來はさし...

彼と月と戀 (二)

みのもささう

枝と枝とが空間で重なり合
つて真黒な一つの影を地上
に寫してゐる、木立の中に
小さな社がある。
其の前に来た時、彼は女の
聲を聞いた。
「随分待つてたのよ」
戀人のみが持つ優しい女の
聲である。
「さつきから待つてたのよ、
何うして遅かつたのよ」
彼は直ぐに悟つた。
「俺は幸福にも戀人に間違
へられて居る」
月の光を頭から浴びて彼の

合ひ喜び合ひ泣く事はど
んなに楽しい事であらう。
彼女は其の喜びの時を待つ
て居たのでそれなの、彼女
のつれなし戀人は、彼女が
つい怨み言を口走る程長く
待たせてゐるのだ。
「僕は貴女の戀人ぢやない
お間違ひです、よく僕
の顔を見て下さい、此の
聲を聞いて下さい、もし
たら貴女の心を許した男
でない事が解りますよ」
「アアッ」
驚きの聲をのこして、彼女
は其の儘走り去つた。
「驚かなくつても良かった
のだ、戀人に間違ひられ
た俺は幸福だつた、ほん
とうの戀人が来る迄一終
にはなしてゐても良かった
のだに、戀を持つ者はま
つと大たんでも良い筈だ
が……」

西洋丸昇軒

電話四三九番

前に立つ、彼女に同席した
此の静かな夜の世界で、戀
人となつた二人きりで、二
つの心が一つになつて語り

入學 學生靴景品附大特賣

- 御用命は……直線に大塚へ!
 - 中學校……通學靴
 - 女學校……通學靴
 - 小學校……通學靴
- ◆豊富に而も廉價に實用品を揃へて……
各學校……御來店をお待して居ります
各會社(御用) 大塚支店
製靴部 運動具部
平町田町 電話七〇二番

ライト寫眞館

平町大通り
電話八四七番

こんど仕入れた正札堂のアイギの安賣り
見て御座れ
いつも安くと御客の聲を早ふ聞きた
正札堂

正札堂洋服店

平町四丁目停車場通り

イスミテーブルの御用命は
本箱ミツクエ

丸ほん

三丁目・電三五九
月見町工場・電七三番

春のお調度品

又々珍品澤山入荷致しました

平町三丁目

三井呉服店

電話三八番 七五二番

電話開通披露

支那料理の御注文は……

安くて……おいしい
電話七五九番へ

南町中ノ湯前

華香亭

出前は迅速親切をモットーです

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵 金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎

電話 九番 一三九番
振替貯金口座一〇九五六番

確實敏捷は生命なり

洋服の御用命は

是非……田町の

大崎 (電七二三)

御問合せ下さい

三週年紀念!!!

總て四季の洗濯物の……

……御用命は……迅速

……丁寧なる……大倉へ

平町紺屋町公園下

大倉洗濯店

店主 大山房義

平町紺屋町(縣社通り)

小倉製袋店

宴會席の設備あり
小宴會 歓迎す
美味で評判の
電話四六〇番

ラチオの理整

在庫品の整理を機に……

三球一台 (附屬一式共)

タツタ……六十五圓

……で販賣致します

何卒御用命下さい

電機器具日東商會

ラチオ部
電話二八番

内外果實問屋

藤居商店

平驛前通り
電話五四三番

安全第一

諸債券 公債類の御用は是非迅速簡
易をモットーとする弊店を精々御利
用下さい

營業 勸業債券 兩替
復興債券 金融

課目 公債 其他 金融
質物 一般取扱

平町大工町 多田井商店

紙類の御注文は……

……一直線に是非小谷へ

荷札封筒 紙袋製造 和洋紙販賣

小谷製袋店

平町南町
電話一四七番